

令和6年度第2回大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会 議事録（概要）

令和6年度第2回大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会は、令和7年2月20日（木）午後2時00分、大津町役場1階多目的室において開催された。

1. 当日の出席者は次のとおりである。

被保険者代表	西岡 逸郎、西岡 智子、太田 昭子、小西 壽美恵
公益代表	三宮 美香、甲斐 徹也、安永 隆敏
保険医代表	岩上 英一
歯科医代表	野田 一樹
薬剤師会代表	花岡 亮介
欠席者	川谷 弘和、柴田 昌一朗

2. 当日の議案説明のために出席した者は次のとおりである。

健康福祉部長	大隈 寿美代
健康保険課 課長	緒方 るみ
健康保険課 国保・医療係長	山部 美保
健康保険課 健康推進係長	上田 雅子
健康保険課 健康推進係 保健師	久米 葉月
税務課 課長	宮崎 俊也
税務課 住民税係長	徳留 久士

3. 当日の議案は次のとおりである。

（別紙の記載）

4. 閉会 午後3時20分

【議事録】

1. 開 会（事務局）

ただ今から令和6年度第2回大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会を開会いたします。

2. 健康福祉部長あいさつ（大隈健康福祉部長）

3. 会長挨拶（三宮会長挨拶）

4. 議 事

(1) 報告事項

①令和7年度国民健康保険特別会計予算の概要について

会 長：「①令和7年度国民健康保険特別会計予算の概要について」の説明をお願いします。

(資料に基づき、「①令和7年度国民健康保険特別会計予算の概要について」説明)

会 長：法定外繰入を続けると赤字解消計画の策定が必要なのか。

事務局：令和6年度、7年度の2年連続法定外繰入を行うことで、赤字解消計画を令和8年度に策定することになります。策定の際には、増税も含めた財政改善方法等を検討する必要がありますので、その際は改めて国保運営協議会での審議をお願いしたいと考えています。

②大津町の健診と保健事業について

会 長：「子ども・子育て支援金について」説明をお願いします。

(資料に基づき、「子ども・子育て支援金について」説明)

委 員：令和12年度の保険料水準の統一時の大津町の保険税率等は、現行よりも下がるのか。

事務局：統一時の保険料水準等については県から何も示されていないので、詳細は不明ですが、現在の大津町の標準保険税率は県内でも高水準であり、統一時には下がる可能性があると考えています。

③健診と保健事業について

会 長：「健診と保健事業について」説明をお願いします。

(資料に基づき、「健診と保健事業について」説明)

委 員：大津町でがんや心臓病で亡くなる人の割合が県よりも高いとのことだったが、理由は何か。また、生活習慣病で病院を受診すると薬代が高いと聞いたが、本当なのか。

事務局：がんや心臓病で亡くなる人の割合が県よりも高い理由について、詳細は分析中ですが、健診受診の際の質問項目の回答において、「運動習慣がない人の割合が多い」ことから、こちらが要因の一つになっていると考えています。また、生活習慣病に伴う薬代が高いとのことですが、一般的には糖尿病の治療薬は高いと言われており、それ以外の人でも生活習慣病が重くなれば心疾患などを発症しますので、病気が重くなることで治療費等が高くなることは考えられます。

会 長：前回の会議の時にも話題になったが、住んでいる地区によって、高血糖や高血圧の人が多いなどの地域性はあるのか。

事務局：詳細は分析中ですが、保健師として健康指導の訪問時に特徴があると感じていることは、漬物を漬ける際に砂糖が加えられていたり、穀物の接種について、とくにイモ類の摂取が多いのではないかと感じています。摂取したエネルギーに対して使用するエネルギーの量が少ないと、体に脂肪が付くことで、最終的に脳や心臓の大きな血管のダメージに繋がり、死亡率にも影響していると考えています。詳細なデータ分析については、医療費と健診の質問項目を比較しながら進めていきたいと考えています。

会 長：口腔内の歯の疾患について、高齢になってくると歯や歯茎が弱くなり、差し歯が合わなくなってきたり歯医者に通う回数等が増えることで医療費も高いのではないかと考えていたが、今回の説明では医療費を圧迫している要因にはなっていなかった。

事務局：今回示している数字は、国保の加入者の医療費のうち、生活習慣病に関連のあるものを示しています

会 長：大津町は子どものむし歯が多く、小学校でフッ化物洗口が始められていて、国保とは直接関係はないが、歯の健康には大事なことはないかと思っている。

事務局：歯の健康については、健康増進法に基づいて歯科保健事業を実施していますが、フッ化物洗口等の効果もあり、むし歯を持つ子どもの数については減少しています。ただ、成人や高齢者の歯周病については、増加傾向にありますので、今後対策を強化していく必要があると考えています。

委 員：眼科医として目の奥の血管をよく見るが、目の奥の血管が綺麗な人は体がかなり丈夫だという印象がある。心臓病と脳疾患は、基本的には血管の病気が多く、この二つを合わせた患者数は、がんに迫る勢いとなっている。がんの検査や治療法はかなり改善されているので、近い将来、がんを追い越すのではないかと考える。生活習慣病の人は、塩分を取っている人が多く、改善できる余地がかなりあると思う。糖質制限等がよく言われているが、基本的にはカロリー制限することが大事ではないかと思う。また、医者の総論だと思うが、タバコは生活習

慣病に良くないと思う。タバコは、「肺がん」と思われる方も多いが、血管のリスクがかなり大きい。もしタバコを禁煙した場合には、肺がんというよりも、生活習慣病の予防の効果が遥かに大きいと思う。

委員：糖尿病と歯周病は、強い相関関係があることがわかっている。糖尿病の人は歯周病が酷い人が多く、歯周病が進むと入れ歯を作成するなど医療費も高くなっている。糖尿病を予防するには、歯周病を予防することが大事になってくる。子どものむし歯が少し減っているとのことだったが、10人のうち9人はむし歯がない状態だが、残りの1人が10本持っているなど格差が激しくなっている。歯磨きの仕方というよりも、食生活の影響が大きい。知識があれば予防できると思うが、知らない人が多いので、健康教室などの「知識を提供できる場」をもっと増やしてほしい。病院には、病気になった人が行くものであり、病気にならないような取り組みが個人的には大事だと思っている。

委員：イオンで開催された「知ってお得！からだ測定会」は、買い物ついでに介護や健康のことを知ることができて良かったと聞いているので、1回きりで無く、定期的に続けて欲しい。住民に健康意識を植え付けるには良い機会だと思う。また、地域で「通いの場」が行われているが、参加されている高齢者の体の機能が良くなっており、とても良い取り組みだと思う。自分の住む地域でも定期的に実施しており、これからも続けていきたい。

事務局：測定会には、約200人に参加していただき、多くの人に自分の体に興味を持ってもらったと考えている。今後も工夫しながら実施に向けて検討していきたいと考えています。

委員：高齢になっても筋肉量が増えるという町の通いの場のデータを見て、地区によって取り組み内容が違ふことで結果が大きく違ふことを知った。効果がある地区の取り組みを実際に見てみたいし、大津町全体にもっと広がって欲しいと思う。

会長：「地域健康計画」のようなものを作成したら面白いと思う。

委員：良い薬が数多く出ているため、薬剤費が高くなっている。国がセルフメディケーションを強く推進しているが、地域の薬剤師がしっかりと勉強してきちんと推進していけば相談窓口になり、医療費の削減にも効果があるのではないかと考えている。菊池郡市でも薬に関する健康教室を開催しているので、今後機会があればぜひ活用してほしい。

事務局：町でも予防について力を入れており、測定会は介護保険課と連携し実施したところです。本日の会議には様々な分野の代表として各委員が参加されていますので、「効果があつた取り組みやイベントの内容等」の事例があれば、事務局へ情報提供いただきたいと思います。また、菊池郡市の医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携を強化し、今後も様々な取り組みを行っていききたいと考えています。

会長：薬が足りなくなっているという話も聞くので、薬に頼らないような体づくりが必要だと思っている。

委員：マイナンバーカードと健康保険証の紐づけを解除する人が増えていると聞いているが、大津町の状況は。

事務局：大津町の国保は、1世帯2人が解除されています。後期高齢者は登録解除の人はいません。

委員：マイナンバーカードとなった場合、臓器移植の意思表示はどうなるのか。

事務局：マイナンバーカードの表面に、意思表示欄が設けられていますので、こちらを活用することになります。

会長：質疑並びにご意見はありますか。

(2) その他

会長：「(2) その他」について事務局より説明や報告などがありますか。

事務局：任期満了のお礼。各団体への新年度の推薦依頼。

(質疑なし)

5. 閉 会（事務局から今後の予定について説明）

事務局：連絡事項

令和7年度への運営協議会については、国保税条例の改正（子ども子育て支援金等）などもあり、会議を3回、研修会を1回予定しています。ご協力をよろしくお願いします

以上をもちまして、令和6年度第2回大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会を閉会します。